

不順な天候で事故や事件のニュース多い今年の夏でしたが、皆さまにはどんな夏の思い出が残ったでしょうか。

朝夕は虫の声が聞こえる過ごしやすい季節となりました。新九郎は3年ぶりに壁塗りをし、真っ白な壁にリニューアルされました。9月からはより美しい壁で見ていただくお手伝いができると思います。いよいよ芸術の秋。9月26日からは「小田原映画祭」も始まります。いろいろなご案内を良くチェックしていただき、アート好きの皆様で大いに小田原を盛り上げていきましょう。

新九郎 9月の展覧会のご案内



会 期	展 覧 会 名	見 どころ
9月2日(水)～7日(月)	つばめ写友会展	20名約60点の展示です。＜季に遊ぶ＞と題し、富士山・風景・草花・人物・各地の行事等自由なテーマの写真作品展。
9月9日(水)～14日(月)	第23回女流展	西湘画壇をリードする女流画家たちの展覧会です。油彩・水彩画、抽象・具象約25点の展示です。
9月16日(水)～21日(月)	第57回 水曜会洋画展	今年で57回目になる歴史ある水曜会。18名の会員による油彩画40点は抽象・具象の作品です。
9月23日(水)～28日(月)	第2金土 デッサン会展	絵画の基礎と言われる人物デッサンを勉強している会です。講師はいません。各自、自由に描いています。
9月30日(水)～ 10月5日(月)	堀 丁介展	「自分を自然において 絵を描いてきました。」という堀さんの初個展。油彩画約40点の展示です。

近隣・友の会会員の展覧会情報

新田和夫個展	9月2日～7日	アオキ画廊
吉川心水作陶展・相原苑江水彩画展・あーと彩の会	9月10日～14日	アオキ画廊
宮内恭子染色展・傘寿記念	9月17日～21日	アオキ画廊
火曜パステル会作品展	9月24日～28日	アオキ画廊
第21回 絵好会展	9月2日～7日	飛鳥画廊
第3回 野口均作陶展	9月23日～28日	飛鳥画廊
鈴木恵之介展	9月2日～28日	はげ八館
仙仁 司展	9月5日～20日	すどう美術館
若き画家たちからのメッセージ受賞展	9月26日～10月11日	すどう美術館
神林 学彫刻展	9月26日(土)～	うつわ 菜の花
スケッチンクウォークの会湯河原教室展	9月21日～25日	湯河原図書館

第3回小田原映画祭シネマトピア2009

2009年9月26日(土)から10月4日(日)

会場: 小田原城銅門 小田原コロナシネマワールド
ダイナシティ TOHO シネマズ小田原

今年度から行政の支援がなくNPO法人小田原シネトピア・小田原映画祭実行委員会による手作りの活動として小田原映画祭が再スタートしました。新九郎では、最終審査に先駆け「ショートフィルムコンテスト」の優秀作品上映会を行います。全国から100点を超える応募作品の中から厳正な審査を経て選ばれた優秀作品11本を2日にわたって上映します。若い映像作家たちの今を見ることのできる貴重な機会です。制作費30万円の「大賞」の行方、西さがみを撮影地やテーマに取り上げた「西さがみ賞」をぜひ自分の目で確かめてください。

日 時: 9月17日(木)18日(金)16時30分～20時
場 所: ギャラリー新九郎・入場 無料

小田原城銅門野外上映会(雨天 三の丸小アリーナ)

◆9月27日(日) 17時10分開場

◆映画「築城せよ！」 事前申込制ですのてお忘れなく

ようこそ平塚美術館

平塚美術館学芸員 勝山 滋

横山大観が描きのこした富士は1500点に及ぶ。

後年はマンネリ化して、太陽や松を添えた定型となるが、大正4年の本作では、南アルプスから望む夏富士が、新鮮な目でとらえられている。澄んだ胡粉(白)が雲海を表し、青い山頂がのぞく。富士とせずに「不盡之高嶺」としたのは、万葉集に則ったものであろうか。季節感のほかに精神的な高みを感じさせる作品といえよう。開館以来ベスト3の入場者を記録し「いわさきちひろ展」が終了しました。企画展はしばらくお休みとなります。

不盡之高嶺横山大観





直島レポート

ギャラリー新九郎 木下泰徳

直島に行ってきました。瀬戸内海は穏やかで心を落ち着かせてくれました。

クロード・モネ、ウォルター・デ・マリア、ジェームズ・タレルの三人のアーティストの作品（9点）を見るためのまことに贅沢な地中美術館。

まずはメインのモネの「睡蓮」。3×6mの大画面を自然光のみでやさしく見せています。タレルの光の空間へ身体ごと入ってしまう「オープンフィールド」という作品は不思議でワクワクさせるものでした。安藤忠雄の聖堂のような建築（コンクリート打ちっぱなし）と対峙するかにように置かれた、一部の狂いもないデ・マリアの作品。

美しい島々と楽しい屋外作品。探して歩くのも楽しい「家プロジェクト」。美味しいタコ。充実した時間を過ごすことができました。しかし、今回何よりも心を動かされたものは、ベネッセ会長の福武総一郎氏の考えと生き方でした。長くなりますが、ご紹介させていただきます。（福武総一郎氏は世界のベストコレクター200人に選ばれる）

『自然と歴史と現代美術 福武総一郎』

「直島瀬戸内アートの楽園」（新潮社）より抜粋

『東京から岡山へ。1986年、当時の福武書店の社長であった父が急逝し、私は東京から岡山の本社へと戻ることになりました。大都市・東京から、地方都市の岡山へ。情報量の落差はもちろん、ありとあらゆる環境の違いに、最初は戸惑いました。いったい岡山で何をやればいいのか…。』

ところが、岡山で数カ月を過ごすうちに、私は東京にいないことの幸せを心の底から感じるようになりました。東京は「人間」が欠けた都市だった。歴史や自然が存在しなければ、そこには人間というキーワードも存在し得ない。東京から岡山へ帰ったことが、その数年後、福武書店から「ベネッセ」すなわち「よく生きる」という意味の社名へと変更させてしまうほどに大きな影響を、私にもたらしたのです。』

『現代美術と自然と歴史…。』氏はこう考えます。

『現代美術は、出版や音楽などの文化と

は、ずいぶんと違うと思います。（中略）アーティストは儲からないんです。では、彼らは何故に作品を作るのか？私は現代社会の問題や課題や矛盾を、ひとつひとつの作品に込めているのだと思います。そんな作品を問題や課題や矛盾の多い都会に置いたとしても、はたして作品みずから光を放つだろうか？また瀬戸内海の美しさは、江戸末期から明治にかけてやってきた世界の人々からも高く評価されていたそうです。この美しい瀬戸内海に現代美術を置く。私の構想は、こうしてまとまっていったわけです。』

そして、展示についてこう考えます。

『私は、絵が主役になってはいけません。あくまでも主役は人間であるべきだと考えています。人間とは、絵を見ている人のことです。（中略）見ている人にすべてを委ねたい。アートが主張するのはなく、アートが自然や歴史の持っている良さを引き出す。そしてそれが人間を動かす。感動させたり、ある種の感情を

引き出す。（中略）それが現代美術の素晴らしさだと思います。』

1997年に「家プロジェクト」2004年には「地中美術館」がオープン。直島には若い人たちがたくさん足を運んでくれるようになります。

『もちろんそれもうれしいことなのですが、じつは私がおっとうれしく感じているのは、地元のおじいさんおばあさんたちが元気になってくれたことです。』

（中略）現代美術は、人間を元気にするアートでもあるのです。』

『直島にいらっしゃったみなさんには、なによりもまず自由に過ごしていただきたいと思っています。（中略）日本は今、大きな転換期を迎えていると思います。しかし都会では、なかなか本質的な交流がしにくいのではないのでしょうか。自分の生き方、将来、よく生きるとは？そんなことを考える時間と空間を、直島でつくっていただければ、と思っています。』

新九郎というささやかなギャラリーではありますが、アートにふれ、豊かで充実した時間を皆さまと共有できる場になればと思っています。



現代美術版画展 乞うご期待！！

世界の第一線で活躍する現代美術作品をセレクト。小品から美術館級の作品まで、展覧いたします。

■平成21年10月22日（木）～26日（月）

■ダイナシティウエスト1F キヤニオン

観覧 荒木経惟 アンディウォーホル

オノサトシノブ 草間彌生 ジョナスメカス

ジョンケージ 天明屋尚 船越桂 白南準

奈良美智 村上隆 李禹煥 横尾忠則 他

ワークショップ シルクスクリーン版画の印刷体験

10月24日（土）25日（日）13:00～15:00

主催 株式会社 伊勢治書店・ギャラリー新九郎

有限会社 岡部版画出版



- ◆ 8月は展覧会は小休止でした。石アート・夏休み子供フェスティバル等夏休みならではのワークショップでにぎわいました。平塚美術館ツアーは、日本で一番人気のある絵本作家「いわさきちひろ展」でした。お子様連れで賑わいました。
- ◆ 「戦争孤児の原画展」では著者の増田昭一さんを囲んで戦争と平和について考える時間を持つことができました。夏は生きていることの実感が沸き立つ季節ですが、日本人にとっては平和とは何かを考える季節でもあります。
- ◆ 恒例となりました「ウクレレの夕べ」。参加者はビールを飲みながら長谷川マコトさんの軽快なトークとスーパーウクレレバンドの演奏を楽しみ、いい暑気払いとなりました。
- ◆ 最終週の「僞展」20～30代の若手作家7人によるグループ展。油彩、鍛金、パステル画、彫刻と若者らしい新鮮さを感じさせるよい展覧会でした。
- ◆ 新九郎デッサン会もアマチュアモデルの新鮮さが好評です。9月は少し後にずれ10月1日の開催となりますが、インド舞踊の衣装を着けたモデルのデッサン会です。ご参加お待ちしております。